

令和元年度第2回愛媛県宇摩構想区域地域医療構想調整会議の開催結果

- 1 会議の名称 令和元年度第2回愛媛県宇摩構想区域地域医療構想調整会議
- 2 開催日時 令和2年2月20日（木曜日）午後7時から午後8時30分まで
- 3 開催場所 四国中央市保健センター 1階 集団指導検診室
- 4 出席者 委員10名、随行者5名、オブザーバー8名、事務局5名（合計28名）
- 5 傍聴者 0名
- 6 議 事 議題（1）（2）を公開し、議題（3）（4）を非公開にて開催

（1）平成30年度病床機能報告について[公開]

病床機能の分化を推進するうえで、医療機関の取組みの進捗状況等の参照情報となる平成30年度病床機能報告結果（病床機能ごとの病床数）について、2025年に向かって病床数は、「急性期」「慢性期」が減少し、「高度急性期」「回復期」が増加する傾向にあること、また2025年必要病床数に対し、「高度急性期」が過剰であり、「急性期」「回復期」「慢性期」が不足する状況となることを事務局から説明を行った。

《大野委員》平成30年7月1日時点と記載しているのはこの時点での実績（現状）か。

⇒《事務局》平成30年7月1日時点での現状であり、今の現状と一致しているとは言い難いところはある。

（2）医師確保計画及び外来医療計画について[公開]

愛媛県が作成した医師確保計画及び外来医療計画（案）の概要について、事務局から説明を行った。

医師確保計画については、目標医師数及び必要医師数の設定、また病院を含めた医師偏在指標については中程度であるため初めの計画年度では現状維持を基本としている旨を説明し、外来医療計画については施策について調整会議で協議が必要になる旨の説明を行った。

《石川委員》地域枠の医師が配置されてきていると思うが、診療科ごとの圏域の中の優先順位なども計画の中に併せて載せていかないと、計画があまりにも漠然としている。

（3）令和元年度宇摩構想区域地域包括ケアワーキンググループ会議開催結果について[非公開]

令和2年1月23日に開催されたワーキンググループ会議の開催結果について説明を行った。

(4) 公的医療機関等 2025 プランについて[非公開]

四国中央病院が提出した公的医療機関等 2025 プランの協議にあたり、地域に必要な医療を質が高く効率よく不足なく提供できるかという視点で議論が行われることが求められており、そのためには当構想区域の医療提供体制の現状に係る課題を直近のデータから抽出し、それを使って議論することが必要であること、また、同じ病床機能を持つ医療機関をまとめて議論することが必要であることを説明し、まずは高度急性期・急性期機能を担う医療機関から直近のデータの情報提供やプランの提出を依頼すること及び提出されたデータ等を専門家に依頼することについて、調整会議としての必要性の有無を審議した結果、必要性が有るとされた。